

焼津市では、母子健康保健の取組として、いつでも親同士が交流できる体制、安心して相談できる体制の充実を図ることを目指して事業を実施しています。

事業のひとつとして、スマートフォンにアプリをインストールし、母子健康手帳とあわせて、出産・子育て環境をサポートすることができる母子健康情報サービスの取組があります。このサービスは、マイナンバーカードを活用し、母子手帳をデジタル化したもので、官民連携で開発し、提供をしているものです。

現在の登録利用者は19名です。マイナンバーを使うか使わないかで登録利用者数にも大きな影響を与えるので、導入検討にあたっての課題であることが分かりました。

しかし、これからの子育て世代の親達のことを考えると、この情報サービスは便利です。徐々にこのようなサービスを提供している自治体が増加してい



焼津市保健センター



富士ハーネス

ることからも、これからの子育て支援サービスとして期待したいです。

富士宮市の

日本盲導犬総合センター（盲導犬の里富士ハーネス）は、日本盲導犬協会が、慢性的な盲導犬不足を解消し、待機者0を目指して開設しました。施設では、生まれた子犬を立派な盲導犬に育て、視覚障がい者のかたが安心して外出できるよう、時間をかけて訓練するだけでなく、役目を終えた老犬が余生を穏やかにすごすことができるような環境が整っています。

ここで、育成している盲導犬は、障がいを持つ人々にとって、大切なパートナーです。そのような人々が社会復帰するにあたり、盲導犬の果たす役割と、施設の大切さを実感することができました。

視覚障がい者の皆さんが、日ごろから安心して外出できる社会を一日でも早く構築していかなければならないと改めて感じました。

【北朝鮮の弾道ミサイル発射等に抗議し、とりわけ米朝対話による問題の平和的解決に関する決議】

我が国を始めとした関係諸国、そして国際社会は、これまで朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）に対し、国連安全保障理事会決議等の完全な遵守を求め、核実験の実施や弾道ミサイルの発射等の挑発行為を行わないよう強く求めてきたところである。

しかしながら、北朝鮮は、8月29日に我が国、北海道上空を通過させる中距離弾道ミサイルを予告なく発射させ、9月3日に6回目となる核実験の強行、さらに、9月15日にも弾道ミサイル1発を発射させ、北海道上空を通過させ、襟裳岬の東約2,200キロメートルの太平洋上に落下させた。

こうした国連安全保障理事会決議等に反する行為は、我が国を始め、アジア・太平洋地域の

平和と安全に重大かつ深刻な脅威を与えるものであり、決して容認することはできない。

よって、本市議会は、北朝鮮のミサイル発射及び核実験に対し、厳重に抗議するとともに、世界の恒久平和と東アジアの平和と安定を願い、国連安全保障理事会の決議を遵守し、核及び弾道ミサイル計画の即時放棄、及び、とりわけ米朝両国の直接対話を通じた平和的・包括的な解決が図られるよう強く求めるものである。

以上、決議する。

平成29年10月3日
埼玉県白岡市議会